

教職員の指導力の向上

各校の研究・研修活動を支援するとともに、北海道教育委員会が指定する『学力向上に関する総合実践事業』を活用し、小学校高学年における教科担任制の在り方について研究を進めます。

また、勤務時間の管理や業務の効率化、部活動指導員の配置を進めるなど、教員が健康でいきいきとやりがいをもって勤務することができる環境整備に努めます。

情報教育

学習の基盤となる情報活用能力の育成を図るため、校内通信ネットワークを整備するとともに、年次的に児童・生徒一人一台の端末を整備していきます。

また、学習ルールの整備や授業実践事例の蓄積を進め、授業公開や研修会を実施するなど、教員によるICTを活用した授業力向上の取り組みを促進します。

豊かな心の育成

市の豊かな地域資源や人材を生かし、実体験を重視した自然体験や社会体験など、各学校の特色ある教育活動を積極的に支援していきます。

体力の向上

体育科のさらなる授業改善やスポーツ指導員の派遣を通して、児童・生徒の体力と運動能力の向上に努めるとともに、

望ましい生活習慣の確立のため、『ノーゲームデー』や『早寝早起き朝ごはん』の取り組みを啓発していきます。

安全教育

避難訓練や一日防災学校をはじめ、交通安全指導や防犯教室、情報モラル教室、薬物乱用防止教室など、児童・生徒が状況に応じて適切に判断し、行動する力身に付ける取り組みを引き続き、支援していきます。

不登校・いじめ対策

学校と教育委員会が連携を密にしながら、教員の生徒指導力の向上を図るとともに、教育指導専門員やスクールカウンセラーなどによる相談、適応指導教室における登校支援の充実を図るなど、不登校解消といじめ根絶に努めます。

学校の適正配置

児童・生徒にとって望ましい教育環境を整備するため、令和2年度は登別中学校区において意見



▲令和元年度に実施した意見交換会(西陵中学校区)

交換の機会を設けるとともに、これまでの進捗状況を踏まえ、『登別市学校適正配置基本方針』に基づき、取り組みを推進していきます。

特別支援教育

一人ひとりのニーズに応じた教育の充実を図るため、介助員や学習支援員を適切に配置するとともに、各学校の特別支援教育コーディネーターを中心に、義務教育9年間の連続性を配慮し、きめ細やかな教育相談や就学指導が行われるよう努めていきます。

ふるさと教育

郷土に誇りと愛着を持ち、積極的に地域社会と関わる人材の育成を図るため、関係機関や団体と連携し、郷土の歴史や文化を学ぶ機会の充実に努めます。

また、アイヌ民族の歴史や文化に触れ、理解が一層深まるよう、公共施設にアイヌ文様のタペストリーを展示するとともに、郷土資料館の展示をリニューアルするなど、アイヌ文化に対する興味・関心が高まるよう努めます。

家庭教育・青少年の健全育成

『家庭教育学級』を開設し、保護者を対象とした子育てに関する情報提供や活動支援の充実に努めるほか、家庭や地域の協力を得て実施している『通学合宿』や『放課後子ども教室』などにより、子どもたちが集団の中で基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けるとともに、地域社会の中でのびのびと健やかに成長するように取り組んでいきます。

また、青少年センターを中心に、学校・家庭・地域・関係機関との連携・協力のもと、登下校時の見守り活動や街頭指導、巡回指導など、多くの目で子どもを見守る環境の整備に努めていきます。

文化・スポーツの振興

関係団体と連携して、市民の文化活動への参加や芸術の鑑賞機会の提供、各種スポーツ教室・大会の開催などの取り組みを推進するとともに、本市の歴史や文化が継承されるよう、市民意識の醸成に努めていきます。



▲市内小学生を対象に開催した札幌『2019北海道コンサドレーレ札幌サッカー教室in登別』

学校給食

地元食材を取り入れた献立づくりや栄養教諭による食育指導を通して食に対する関心を高めるとともに、衛生管理の徹底を図るなど、安心・安全な給食の提供に努めるほか、給食管理システムを導入し、効率的な給食事業の運営に努めます。

図書館

郷土資料の収集とデジタル化や郷土史関連講座の開催、アイヌに関する文献収集のほか、ブックスタートやライブラリースタートなどにより、読書や文化に親しむ環境づくりを推進していきます。